

# はじめてのKetslide

KETCindy

つぼみぐみ

2016.09.19

# 初めての Ketslide

# Ketslide によるプレゼンテーション

- 準備
- hajimete.txt にプレゼンテーションの内容を記述
- hajimete.cdy の実行

## 準備

- 1) スライドごとに作業フォルダを作成
- 2) スライドを作る作業フォルダとその中に fig フォルダを作っておく
- 3) fig は固定名称

# hajimete.txt に内容を記述

- 1) 行の最後は必ず // をつける
  - 2) 各ブロックの引数の区切りは ::
  - 3) コマンド
    - タイトル::読込ファイル名 (::壁紙ファイル)//  
最初のタイトルページ
- 注) スライドに置く文字は slide0.cdy で作成

注) 壁紙をつけるときは, もう1つ::で区切って  
ファイル名を書く

注) preambleに追加するとき, ::区切りで書き加  
え, 最後に//

- new(::行下げ)::タイトル((::位置)::読み込みファ  
イル)//

**mainslide**

例) new::[10]::最初に::{50}{20}::figure//

注) 読み込みファイルのサイズ変更するとき

new::[10]::最初に::{50}{20}::figure,0.8//

他にも同様

- `same(::行下げ)((::位置)::読込ファイル)//`  
`sameslide`
- `enumerate(::書式)//`  
`enumerate` 環境の始まり
- `itemize//`  
`itemize` 環境の始まり
- `layer(::範囲)//`  
`layer` 環境の始まり
- `item::文//`  
`item` を追加

- `putnote::方向と位置::読み込みファイル//`  
`layer` 環境の中に図を入れる  
例) `putnote::se{30}{10}::figure//` (input のとき)  
例) `putnote::se{30}{10}::include[width=5cm]::figure.pdf//` (includegraphics のとき)
  - `end//`  
`enumerate,itemize,layer` 環境の終わり
- 4) 空白行を入れたいときは, `...//`とする
  - 5) 必要な図はすべて `fig` に入れる



## hajimete.cdy の実行

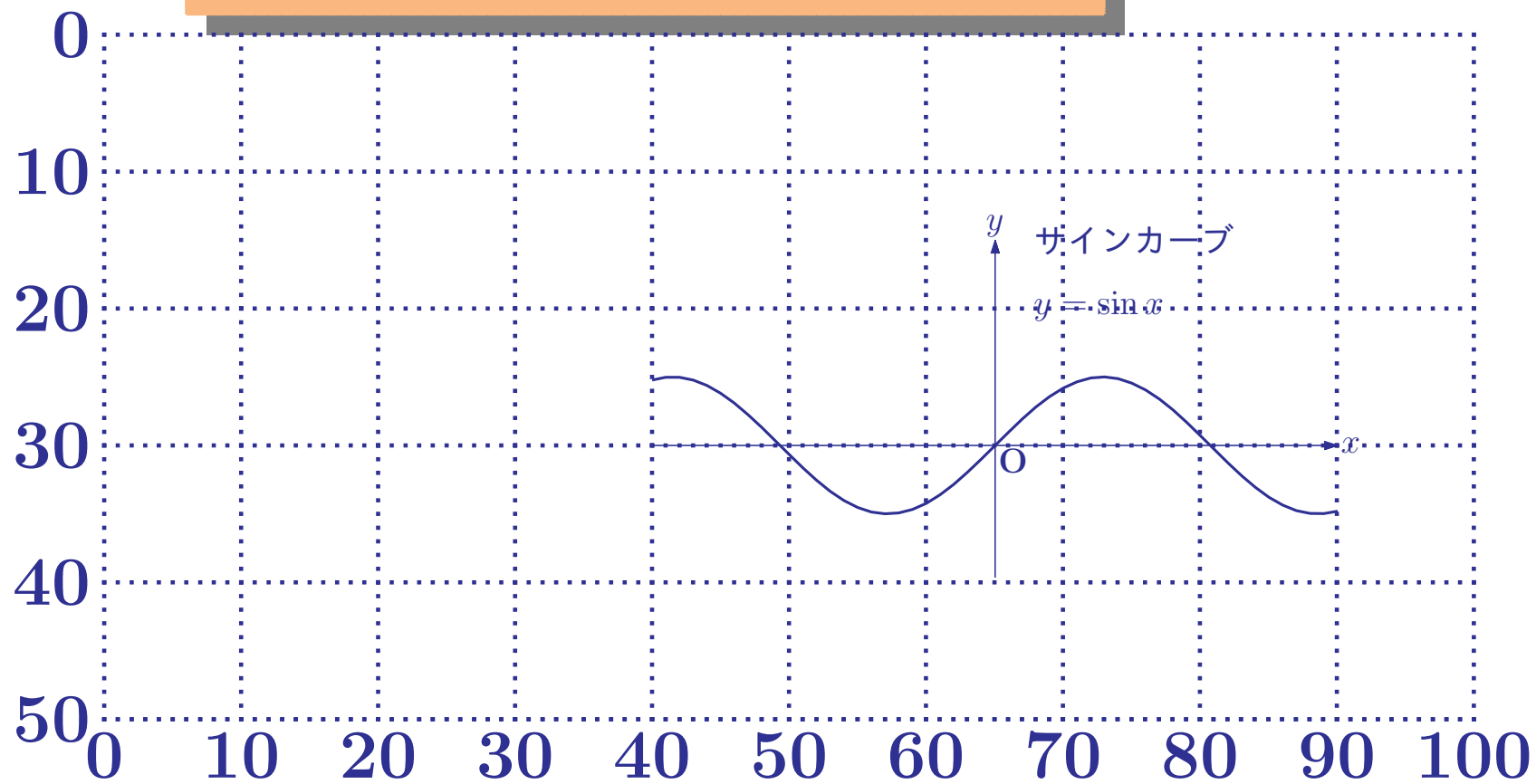
- 1) cdy を立ち上げて CindyScript/figures を開く.
- 2) Slidework で作業ディレクトリ (フォルダ名) を設定 (fig は不要)  
Ex) `Slidework(gethome()+”slide”);`
- 3) Fhead にスライドタイトル名を入れる.(通常は slide0 でよい)

- 4) Texparent に 1 のファイル名 (.txt はつけない) を入れる。
- 5) タイトル画面を編集して, Title ボタンを押す。
- 6) Slide ボタンを押すと, PDF のスライドが作成される。  
注) ketpic.sty などが TeX に組み込まれていない場合  
ketpicstyle フォルダの中身を作業フォルダ内にコピーする。

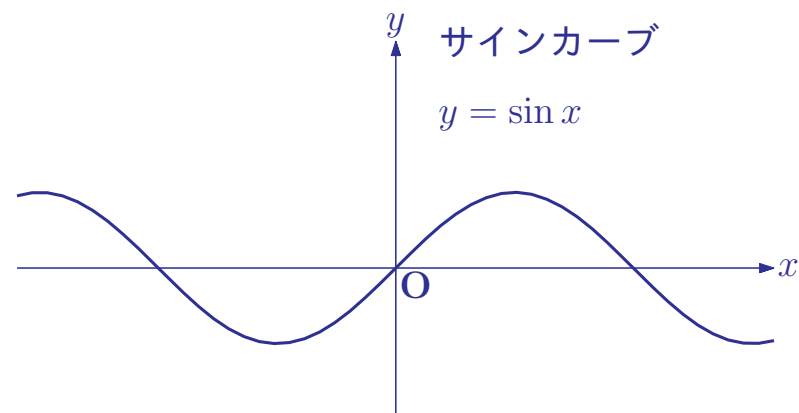
## グラフと図の配置

- $\sin x$  のグラフと layer
- includegraphics と layer

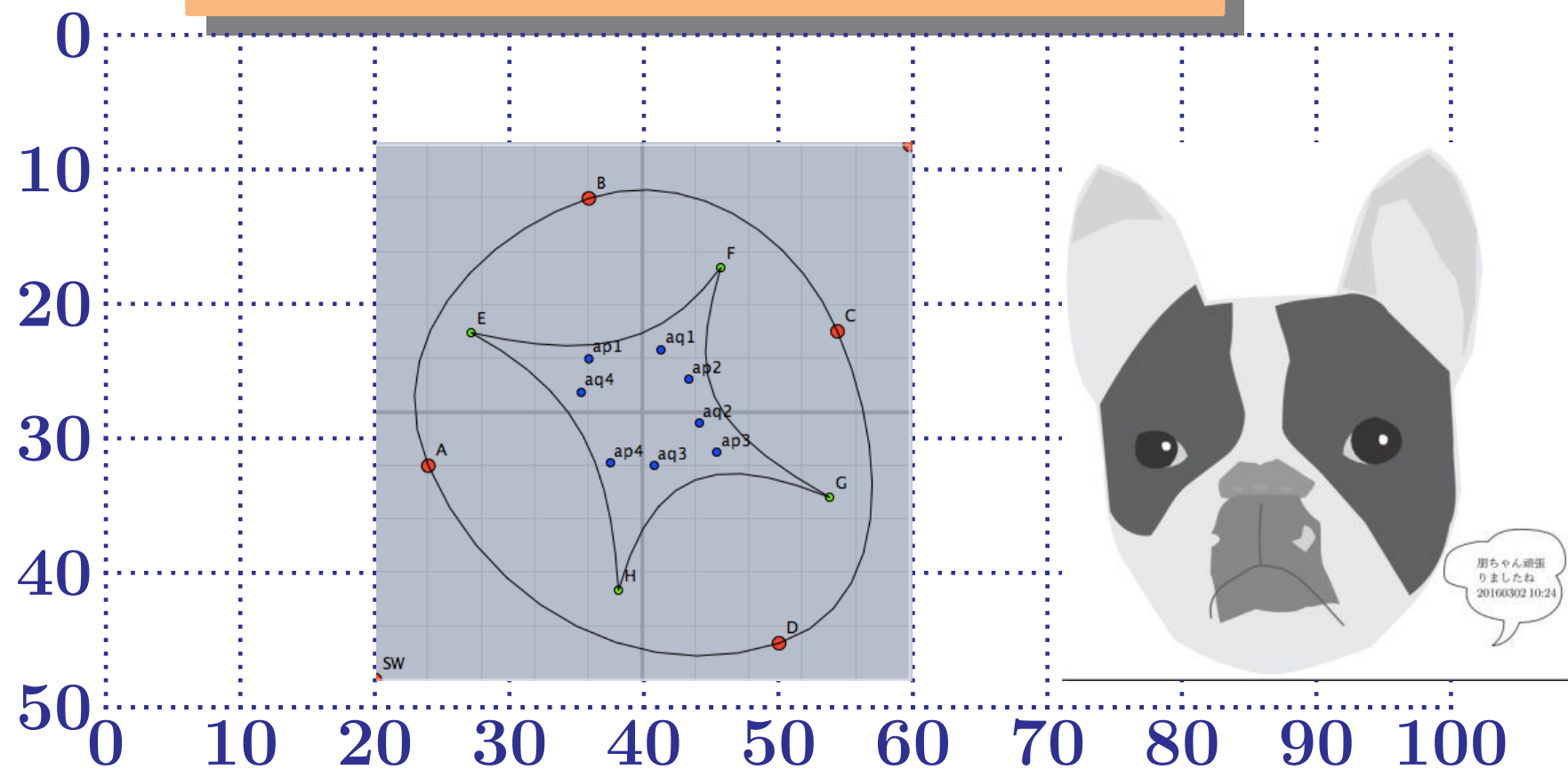
# sin x のグラフと layer



# $\sin x$ のグラフと layer



# includegraphics & layer



# includegraphics & layer

